



こんにちは

白子の議会

です

第119号

平成28年2月18日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



▲ スキー交流教室に参加する小学校児童

第4回定例会

平成27年第4回定例会が12月11日から12月15日まで開催されました。

一般質問は、5名の議員が町政をただしました。



- 5議員が一般質問……………2～6ページ
- 各常任委員会構成……………7ページ
- こんなことが決まりました……………7～8ページ

一般質問

町政をきく

行財政改革について

齋藤 鉄也 議員

議員 白子町の財政力指数は、近隣の町村に比べ

下位にあり、財政も厳しいと思われます。今後、白子町の財政をどのように立て直していくか、町長の考えを伺います。

また、財政力指数は高いが、ラスパイレース指数は低いという自治体もあり、財政が厳しいのに公務員の給与だけ高い自治体は見習わなければいけないと思います。町長の報酬は他町村の首長と比べてどのような状況か、見解を伺います。

今後も努力を

町長 白子町の財政力指数は平成25年度の指数で0・49となっています。

地方の市町村の財政力指数はどこも1.0以下であり、1.0以上は県内でも3

市のみです。財政力指数を上げることは、現状では大変難しいことです

が、その分、補助事業の積極的導入や交付金の活用等、国、県のお金を活用して財政力の高い自治体に近づけるよう今後も努力をしていきます。

また、報酬については、各町村で違いはありますが、平均的な位置にあるものと思っています。

町長の公用車について

議員 町民は燃費の良い軽自動車やハイブリッド車に乗り換えています。

隣の長生村では村長公用車を廃止したと聞いています。

白子町はできる限りの経費削減に取り組む努力が望ましいと思います。町長の公用車である

クラウンマジエスタについて、どのように考えているか、見解を伺います。

良い車に見合う仕事を

町長 現在の公用車は、平成23年度の購入から、5年が経過し、年間140日、走行距離も現在までで5万9kmであり、公用車の効果は出ていると思っています。安全性、機能性を考慮したグレードの高い車ではありますが、良い車に見合う仕事をしていきたいと思っています。



長年閉鎖している砂風呂について

議員 アクア健康センターの砂風呂は、当時は

非常に珍しく、また健康管理の一環も含め、多くの方々に人気がありましたが、現在は閉鎖しており、せっかく築き上げた白子町の砂風呂の存在感がなくなってしまうしました。

砂風呂の再開は白子町のPRにも繋がるものと思いますが、アクア健康センターについて、どのように考えているか、町長の見解を伺います。

解体の方向で

町長 平成24年にアクア健康センターの再活用について、検討委員会を立ち上げ、色々と提案をいただきましたが、センターの底地が公共用地であり、使用条件に制限があること、また津波に対する不安も生じていること等により、費用対効果の観点からアクア健康センターの解体もやむを得ないのではないかと考えています。

地方版総合戦略について

宗島 理仁 議員

議員 白子町まち・ひと・しごと創生本部が中心となり、様々な関係者の意見を反映するために設置した創生会議も開かれ、町を上げて作成に取り組んでいるかと思いますが、現在までの総合戦略の進捗状況を伺います。

時代に即した地域づくり

町長 具体的な施策については、基幹産業の育成、また移住、定住の促進、結婚、出産、子育てに関する希望の実現に向け、時代に合った地域づくりを目指し、作成しています。

ワークショッップの開催は

議員 総合戦略の意見交

換の場として、ワーク

ショッップを行い、通常のアンケートで回答を得られない層のニーズの把握と、町民の意識していない町の魅力、強みについて相互のアイデアを通じて掘り起し、総合戦略の策定に活用していくと当初の予定でありました。

地方版総合戦略の骨子が固まりつつあるこの段階でワークショッップの開催は計画しているのか、見解を伺います。

開催を検討する

町長 必要があれば開催をし、意見を聞いてみたいという考えもあります。

パブリックコメントで、多くの人たちから意

見を聞くという方法も検討しています。

来年度の予算編成方針は

議員 今年度は町制60周年を迎え、記念事業を通じて、魅力あふれる町を実現するために取り組んできたかと思っています。

このことから、来年度、平成28年度は、地方創生に向けた具体的施策を本格的に推進する年として、町ならではの施策を展開していかなければならないと思いますが、予算の概要と特徴について伺います。

丁寧な施策の積み上げを目指し

町長 平成28年度も丁寧な施策の積み上げをし、住んでみたい町、住み続けたい町を目指して、施策の展開を図ってまいります。

具体的には、健幸ポイ

ント事業の拡充や、古所の排水機場、南白亀地区の排水の再整備を予定しています。

海岸侵食について

議員 九十九里浜において、白砂青松という美しい海岸の風景は多くの人を感動させる貴重な観光資源です。

しかしながら、対策を上回る侵食が、今夏に入り顕著に出ています。今までと同じ対策では、被害を食い止められないところまで来ています。

このような現状に対し、現在の海岸侵食に対する被害の状況、町の認識について伺います。

強力に要望していく

町長 中里海岸に対し、海の家の前、120mぐらいの幅で矢板を打って、侵食防止に努めます。

九十九里浜全体を眺めた中で、施策の実現に向け、強力に要望していきたいと思っています。

観光施策について

議員 夏季の有料道路の無料化、あるいは成田空港と県内観光地を結ぶ高速バスの実証実験の成果と反省を伺います。

観光客が訪れやすいように

町長 利用者が増えたことを踏まえ、引き続き、県の有料道路の無料化を要望していきたいと思っています。



財政健全化対策について

東海林 東治 議員

議員 地方公共団体の財政健全化に関する法律が

全面施行され、地方分権を進める上で、国では財政の早期健全化及び再生の為の新たな制度を整備し、各行政財政の全体像を明らかにする制度になりました。

白子町の平成26年度決算で、不納欠損額が、町税、国保税、介護保険料を含めると1億1千万円以上になっております。今後の未収対策と、現在までの経過状況の推移を伺います。

全庁体制で取り組み 未納回収に全力で

町長 税の収納状況は、前年同月に比較しますと上昇しています。徴収率は伸びていますが、まだ滞納があるのは事実です。収納対策本部を作り、副町長を中心に進めています。

ます。

町の（借金、債務） 返済対策の施策は

議員 年々に債務額が増え、歳入額の7〜8割近くになっております。事業計画の推進の継続する必要がありますが、金利の低い借り換え等を含め無駄を省く、行政改革プランを作り、財政体力の小さい本町の今後の方針と将来に渡る財政運営のかじとりを伺います。

交付税助成を優先に 予算の起債を

町長 財政運営は、交付税助成のものを優先して予算を定め起債しております。財政破綻があつてはならないし、必要な事業は進め、バランスを取り、進めているところで



障害者の自立支援 対策は

議員 自立支援事業に多額の決算額がありますが給付金のみでなく、自立可能な人に授産所の確保等の自立環境整備に手を差し伸べる必要があります。

軽度な障害で家に閉じこもりがちの方もおります。行政は、社会的自立へと導いていく責任があります。遠くに通うのではなく、身近な町の中で、空き店舗、放棄農地の活用等を活かした自立支援事業

業施策の考えを伺います。

社会的な自立の 方向で

町長 障害福祉サービスの内容は、就労支援を主として、通所、入所、在宅の利用があります。サービスを利用して障害者も重度、軽度と多様ですが、施設入所により生活の安定と家族負担の軽減に繋がっております。行政、企業も含め社会的な自立の方向へと考えていきます。

支援における 年収制限について

議員 子育て支援の医療支援が父母の所得が高額な為、支援を受給出来ない子供が19人おります。子育て支援には隔たりを作らない市町村もあります。父母の年収により異なる制度になっていきますが、見解を伺います。

県の基準に合わせて

町長 平成27年8月より、小学4年生〜中学3年生までの医療費給付事業を実施しました。小学3年生までは県の基準で、本町も所得制限を継続しております。

ボランティア活動者 特典制度を

議員 40歳以上の方に歩数計の携帯で健康ポイント制度があります。ボランティア活動者へ特典制度を設け、裾野を広げ人的経費削減を図る施策の考えはあるか伺います。

地域社会の貢献は 自身の健康生活

町長 町が委託して社会福祉協議会が支援ボランティア運営事業を展開しております。今後は、本格的に事業展開をして行きたいと考えております。活動者へのポイント制度も検討し、喜び合えるボランティア事業の施策を検討していきます。

地籍調査の進捗状況は

梅澤 哲夫 議員

議員 現在、町では平成24年度から地籍調査事業が行われております。

個人負担がゼロであること、土地トラブルの未然防止や取引の円滑化、災害からの速やかな復旧、公共事業の円滑化、課税の適正化を目的として、毎年度約1億円の経費をかけて、10ヵ年計画で行われておりますが、今日までの進捗状況について伺います。

おおむね計画通り

町長 地籍調査事業は、いろいろな利点がある中で、官民・民民の境界を半永久的に確定することができ、GPSなど最新技術により誤差の無い正確なものとなります。

調査は資料収集、説明会、現地調査、測量、閲覧、そして登記まで3ヵ年半を要しており、初年

度関の第一地区については登記完了しています。

第2期関の第二地区は平成27年10月30日に県の認証を受けました。

北日当、南日当、福島地区の閲覧、北高根、中里高、驚高において現在境界立会をしているところです。

未定数と原因は

議員 平成24年度分が登記されたとのことですが、内容として、未定筆数とその原因、また今後の対策について伺います。

所有者の立会を

建設課長 平成24年度分3千185筆については、調査後2千238筆と合筆、県道や南白亀川用地内に含まれることにより減っています。

未定筆数が19筆あります。

すが、地籍協会から複数回の連絡にも所有者の立会が得られなかったためです。未確定地を無くすには、所有者の境界立会が必要です。



地籍調査事業

登記面積と現状の誤差について

議員 私たちの所有する土地は、土地改良事業による区画整理事業と明治時代の地租改正の際に作成されたものがほとんどとされます。

境界杭中心の調査事業を進めるなかで、不能地と言われる現況確認できない土地や耕地整理時に登記簿と実際の面積の違いが、過去の測量技術の

未熟さ等により発生しているとのことですが町の見解を伺います。

関係者と協議して

建設課長 今回の地籍調査により確定した面積が登記されます。耕地整理時に発生したと思われる面積の差異については、地元維持管理組合、両総土地改良区また県と協議して対応します。

提供された土地について

議員 道路と宅地の境界について確認の際は、所有者は立会っています。が、町職員は立会っていないとのこと。

道路拡張するときに個人から提供された土地が道路として使用されているが、登記簿、公図上に以前の杭跡があり、長期間にわたって改正されていません。

町では、地籍調査の終了を待って処理することですが、第1回目の

整理状況とその土地に対する固定資産税の賦課は適正に行われているのか伺います。

ただいま処理中

建設課長 道路と個人の境界杭についての立会、町は公図を基に地籍調査員に依頼しています。

町に提供された土地、今回調査時に公衆用道路として分筆し、未登記を解消すべく対処しています。

大きな課題として

町長 昔、車も通れなかった道路を地域の人達が土地を寄附するのとことで、登記より先に道路を造ってしまい、未登記がかなりありましたが、一時期整理したものの未登記分が残ってしまいました。地籍調査を契機に登記をしていきます。

土地提供しながら固定資産税が個人に残ってしまったことは無いとも言えないので、大きな課題として整理していきます。

地域公共交通 前進のための検討を

市川 隆子 議員

議員 高齢者層の交通事

故が全国的に高まるなかで、地域公共交通を真剣に考えることが強く求められるようになってきています。こういうなかで地域公共交通活性化再生法が改正されましたが、改正内容について伺います。

また、公共交通は乗り換えをしなくても他市町村にまで乗っていただけるようにしなければならぬと思いますが見解を伺います。

大きな問題・課題のひとつ

町長 地域公共交通が地域社会の活力を維持、向上させるために地方公共団体が先頭に立って関係者の合意のもと、まちづくり等の地域戦略と一体で地域公共交通を形成することの重要性が示されました。

今後は、地域交通の現

状問題、課題等踏まえて持続可能な公共交通ネットワークの形成を進めることが必要だと考えています。

他市町村まで走らせる地域交通は、法の制約があり実現しませんでしたが、また考えることが必要だと思います。大きな問題、課題の一つであり、いい意味での検討課題だと思います。

どのようにすすめるのか少子化・人口減少対策

議員 若者が、働くことと子どもを産み育てることを両立することは依然として難しい状況があります。これは若者が子どもを産み育てる環境が厳しくなっている現状が改善されなければ解決しません。

若者や子どもたちが町に住み続けること、人口減少に歯止めをかけ、地域を活性化するのか、発想と創意工夫によりまちづくりをすすめていかなければならないと思います。考えを伺います。

総合的な対策が必要

町長 出生、子育て対策のみならず人口の定着、流入を図るための取り組み、交流を促進するための取り組み、加えて二番重要なことは流出防止の取り組みだと思っています。

あらゆる分野における総合的な対策が必要であり、町の将来に向けての重要課題だと考えています。

子育て支援策さらに拡大を

議員 町では、多くの子育て支援をしています。成功している自治体はPRがきちんとされています。今後どのようにPRしていくのか伺います。また、若者が定住し安

心して子育てできる環境づくりをすすめるために支援策の拡大を考えているのか伺います。



内容を高めていきたい

町長 子育てについては、白子町子ども・子育て支援事業計画を策定し、子育ての第一元的な責任は親にあるということとを前提にしつつ、未来ある子どもや家族を社会、地域が見守り応援することを基本として推進しているところです。支援策は効果的に広めるために、ICTを活用し効率化を図りながらPRをすすめています。

まだまだ不十分だということも事実だと思っています。

今までの取り組みを継続しながら、施策の内容を高めていきたいと思っています。

総合事業実施時期は

議員 改定介護保険法では、予防給付の見直し実施時期を平成29年4月まで延期できるという猶予期間をおいています。

法によって厚労省から詳細な指針を示され、具体的な指導が県を通じて強化されれば、総合事業を実施し、多様なサービスへの移行もすすめられると思います。実施時期について伺います。

平成28年3月1日から実施

町長 移行時期は、平成28年3月1日から実施となり、介護予防訪問介護と介護予防通所介護から移行したいと思っています。

各常任委員会構成決まる



大多和 秀一
総務常任委員
厚生文教常任委員



市川 隆子
総務常任委員
厚生文教常任委員



今井 信夫
厚生文教常任委員
産業建設常任委員



今関 勝巳
第36代副議長
総務常任委員
産業建設常任委員



大多和 正之
第34代議長
総務常任委員



梅澤 哲夫
厚生文教常任委員
産業建設常任委員会
副委員長



酒井 良信
総務常任委員
産業建設常任委員



齊藤 豊彦
厚生文教常任委員
産業建設常任委員



板倉 正道
厚生文教常任委員
産業建設常任委員



齋藤 鉄也
産業建設常任委員会
委員長



北田 百人
総務常任委員会
厚生文教常任委員会
副委員長



石井 和芳
総務常任委員会
副委員長
産業建設常任委員



宗島 理仁
厚生文教常任委員会
委員長



東海林 東治
総務常任委員会
委員長

議会広報編集委員会 委員長 宗島 理仁 副委員長 東海林 東治 委員 市川 隆子 委員 板倉 正道 委員 今関 勝巳 委員 酒井 良信 委員 梅澤 哲夫 委員 石井 和芳 委員 北田 百人									
監査委員 齊藤 豊彦									
千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員 宗島 理仁									
一宮聖苑組合議会議員 板倉 正道									
長生郡市広域市町村圏組合議員 大多和 正之 大多和 秀一									
議会運営委員会 委員長 酒井 良信 副委員長 梅澤 哲夫 委員 今井 信夫 委員 板倉 正道 委員 東海林 東治 委員 宗島 理仁									

【議案第1号】
白子町税条例等の一部を改正する条例の一部を改

【同意第2号】
白子町監査委員の選任につき同意を求めることについて（同意）

【同意第1号】
白子町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて（同意）

【諮問第2号】
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（適任と認める）

【諮問第1号】
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（適任と認める）

こんなことが
決まりました
定例会（第4回）
議案の内容

正する条例の制定について（可決）

【議案第2号】

白子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【議案第3号】

白子町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【議案第4号】

白子町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について（可決）

【議案第5号】

平成27年度白子町一般会計第3回歳入歳出補正予算について（可決）

【議案第6号】

南日当橋橋梁整備工事（下部工及び旧橋撤去）請負契約の締結について（可決）



議長、町長を囲んで議会広報編集委員会

議会広報編集委員会一同

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は3月9日～15日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。 TEL33-2169/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

昨年の11月に町議会議員選挙が行われ、新たなメンバー19名が広報委員となりました。議会広報の充実に向け、これから活動して参ります。

さて、3月の年度末が期限の地方創生における「地方版総合戦略」策定作業が大詰めを迎えています。

国が提示する決まり決ったメニューに依存する時代から、自らが考え、発信する時代へと移り変わってきています。

そのような中で、多くの住民の方が「何ができるのか」という意識を持ち、まちづくりに関わっている自治体は、成功の道を歩みつつあります。

地方創生は「人」が創り、「人」によって賑やかな場面を作ることが、持続可能なまちづくりへと繋がると 생각합니다。

皆さんが、希望を持てる白子町を目指し、議会も尽力して参ります。今後とも宜しくお願致します。

宗島 理仁